



令和5年度人権月間の取組 ～ 生徒会テーマ Ep.4 リスペクト ～



2nd Season Ep.4

Respect

ありのままの自分・友人を認め合い、互いに尊重し合うことで、高め合える学級・学年集団を創る

12月4日～10日の人権週間（法務省の定め）や、12月10日の世界人権デーを含めた11月22日（水）からの1か月間を「綾川中学校人権月間」と定め、これから様々な取組を行います。11月22日（水）の2学期末テスト終了後の4校時に実施した「人権集会Ⅰ」を皮切りに、今後「学級人権宣言づくり及びポスター制作」「学級人権宣言の振り返り」「人権道徳」「各学年団人権集会」「人権集会Ⅱ（全校）」と人権月間の取組が続きます。

一昨日に実施した「人権集会Ⅰ」では、新生徒会役員から人権集会の生徒会テーマが発表されました。発表の際の生徒会長のスピーチ原稿（抜粋）を以下に紹介します。



【生徒会役員によるテーマ「Respect」の発表】

（前略）Respect（リスペクト）という言葉には、ありのままの相手に敬意をもつ、尊重するという意味があります。ここで私が注目したいのは、「ありのまま」という言葉です。みなさんは相手をありのままの姿で見られているでしょうか。自分のフィルターで見たり、勝手な思い込みや期待をもったりせずに、相手のありのままの姿を受け止め、認められているでしょうか。なぜ、相手のありのままを受け止め、認めることが大切なのでしょう。それはその人がその人らしく、本当の姿を表現できれば、その人が生まれもった本当の輝き、才能、素晴らしさを最大限に発揮できるからです。

そして、お互いのありのままの姿を尊重することができれば、お互いに応援し合える温かい人間関係が作れると思います。（中略）みなさん、ありのままの相手を尊重し、異なる視点や意見を受け入れる心を大切にしましょう。そうすることで、私たちは学び合い、成長することができます。友達や先生方とよりありのままの関係を築くことができます。今回の人権月間を機に、ともに成長できる温かい学校に近付けるようにしましょう。

私たち人間は、他者を先入観で見たり、第3者の話を鵜呑みにしてその人の人格を決めつけたりしてしまう弱い部分を多かれ少なかれもっているのではないのでしょうか。また、普段仲のよい人にはプラス面が、そうでない人にはマイナス面が強調されて見えてしまうことがあるかもしれません。

今回のテーマを一人一人の言動で具現化しようと努力することが、こうした人間の弱さを克服し、相手のよさを再発見したり、一層円満な学級集団に成熟したりするきっかけづくりにつながります。

自分の言動を素直に振り返り、それを実践力につなげる個々の努力と、他者をリスペクトし合う各学級の雰囲気づくりに期待したいと思います。



【人権月間ポスター】